

諮 問 書

佐市企政第24号

平成31年4月17日

佐賀市個人情報保護審査会

会長 村上 英明 様

佐賀市長 秀島 敏行



佐賀市個人情報保護条例第10条第1項第2号に基づき、個人情報の電子計算機の結合について、下記のとおり貴審査会の意見を求めます。

記

1 諮問内容

市民等から提出される申請書（資格の得失、許認可等）等に係る個人情報の電子計算機の結合について

2 電子計算機の結合を行う目的

別紙1のとおり

3 電子計算機の結合を行う個人情報

別紙2のとおり

4 電子計算機の結合を行う時期

令和元年8月から（予定）

5 個人情報の適切な取扱いに関する措置

別紙3のとおり

6 所管課

企画調整部 企画政策課

## 1 背景

本市においては、近年職員数が減少傾向にある一方で、様々な制度改正への対応、地方分権の動きに伴う事務の移譲、人口減少への対応など、職員1人あたりの業務量は年々増大している。しかしながら、生産人口の減少による地方税の伸び悩みや、少子高齢化による扶助費の増大等により、厳しい財政状況は今後も続くことが見込まれ、職員を増やすことによる業務負担の軽減は困難な状況にある。そのような中、国は、平成31年4月に働き方改革関連法を施行し、年間の時間外労働の上限規制を設けたところであり、本市としても職員の業務負担軽減のための早急な対策が求められている。

## 2 電子計算機の結合目的

職員増による業務負担軽減が困難なことから、その代替策として、平成31年度から最先端のICT技術を活用した定型業務の自動化・省力化を進めることとしている。具体的には、以下の2つのICT技術を職員の業務プロセスに取り入れる。

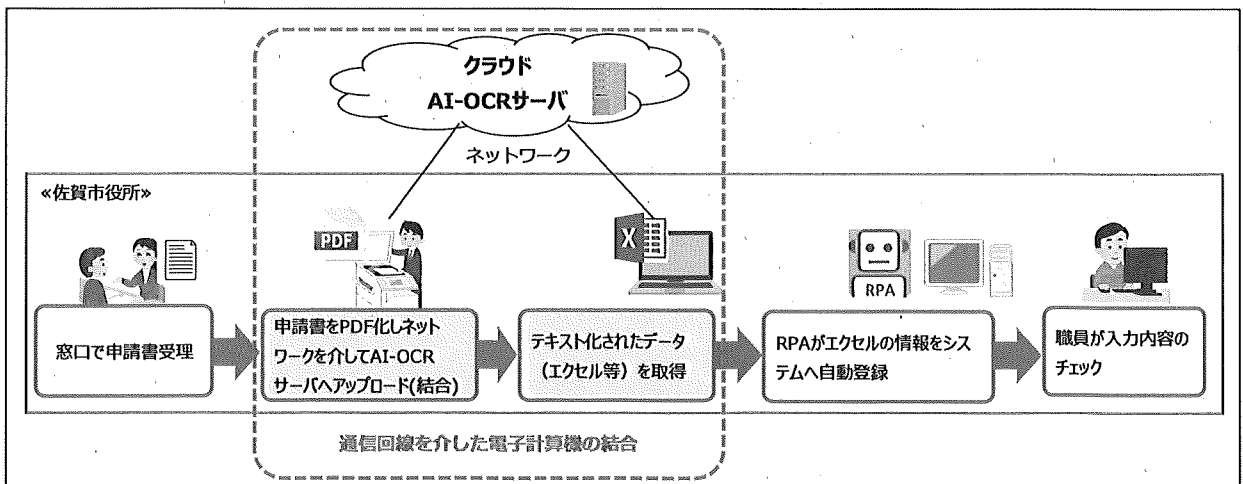
### ① RPA（ロボティクス・プロセス・オートメーション）

パソコン上の作業（マウスを操作する、メールを開く、ファイルを開く・保存する、コピーした情報をシステムに登録する等）を全て自動化するソフトウェア。大量処理する定型業務の自動化が可能で、業務効率化のツールとして民間企業や自治体に急速に広まっている。

### ② AI-OCR（人工知能を活用した光学的文字認識技術）

紙に記載された活字、手書き文字等を読み取り、データ化（テキスト化）する技術。RPAで自動化することができる作業はパソコン上の作業に限定されるが、AI-OCRの活用により紙ベースの申請書の内容をデータ化することで、申請情報のシステム登録作業等をRPAによる自動化に繋げることが可能となる。AI-OCRは、ネットワーク上のクラウドサービスを活用するため、条例に定める電子計算機の結合が生じる。

### 《RPAとAI-OCRの連携による業務自動化イメージ》



## ■令和元年度から取り扱うもの

分野	区分	所管課名	取扱う主な個人情報
保健福祉分野	国民健康保険	保険年金課	・被保険者の氏名、住所、生年月日、電話番号 ・振込口座 ・滞納情報 ・特定検診結果 等
	後期高齢者医療	保険年金課	・被保険者の氏名、住所、生年月日、電話番号 ・振込口座 ・滞納情報 等
	国民年金	保険年金課	・国民年金加入者の氏名、住所、生年月日、電話番号 ・資格番号 等
	障がい者福祉	障がい福祉課	・障がい者の氏名、住所、生年月日、電話番号 ・障がい区分の情報 ・障がい者手帳番号 ・受診している医療機関名 ・各種障がい福祉サービスの受給状況 等
衛生分野	畜犬管理	環境政策課	・犬の飼い主の氏名、住所、生年月日、電話番号 ・飼い犬の情報
人事分野	人事評価	人事課	・職員氏名、職位、職歴、自己評価内容 等
	年末調整	人事課	・職員氏名、職位、住所、給与・税額 等
	各種届出(通勤届等)	人事課	・職員氏名、職位、住所 等

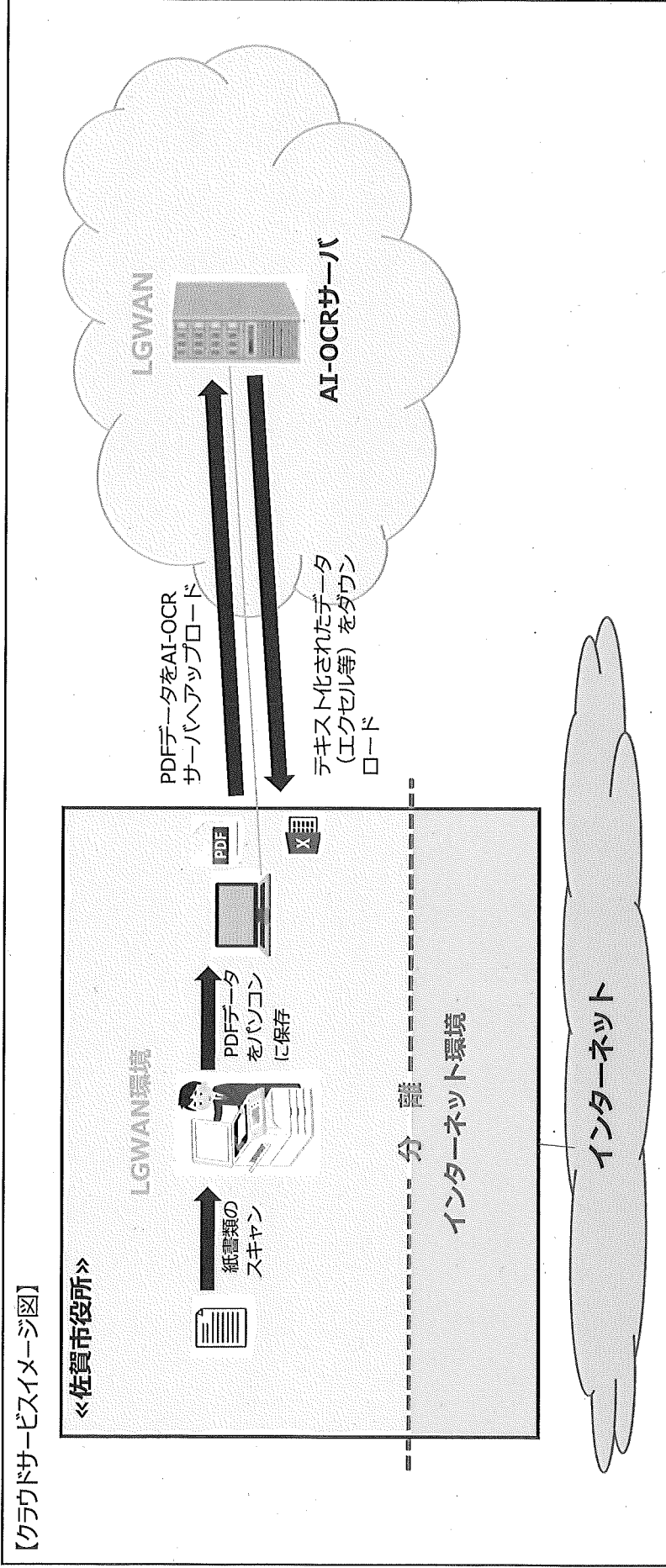
## ■令和2年度以降に取扱いを予定しているもの

分野	区分	所管課名	取扱う主な個人情報
市民生活分野	住基・戸籍	市民生活課	・市民の氏名、住所、生年月日、電話番号 ・本籍、戸籍の筆頭者 ・転居日、転入出日、転籍日 等
市税分野	市県民税	市民税課	・課税者等の氏名、住所、生年月日、電話番号 ・所得情報、確定申告情報 ・税の納付情報、滞納情報 等
	資産税	資産税課	・課税者等の氏名、住所、生年月日、電話番号 ・登記情報 等
保健福祉分野	母子保健	健康づくり課	・妊産婦等の氏名、住所、生年月日、電話番号 ・妊産婦等の健診結果 ・乳幼児等の氏名、住所、生年月日 ・乳幼児等の健診結果 ・乳幼児等の予防接種の接種情報 等
	子育て支援	子育て総務課 こども家庭課 保育幼稚園課	・各種子育て支援サービス(児童手当、医療費助成等)受給者の氏名、住所、生年月日、電話番号 ・上記受給者の受給者番号、所得情報、課税情報 等

■ 個人情報の適切な取り扱いについての措置

- ① セキュアなネットワーク上でのサービス利用
- ・今回利用を想定しているAI-OCRは、ネットワーク上のクラウドサービスだが、インターネット回線ではなく、LGWAN回線を利用したクラウドサービスを利用予定
- ・LGWANは、物理的に地方公共団体及び官公庁とのみ繋がった回線であり、外部（インターネット含む）からの侵入ができない最もセキュアな外部通信回線
- ・佐賀市役所内部の環境も、インターネット回線とLGWAN回線は分離されており、接触していない

【クラウドサービスイメージ図】



② 利用職員への研修の実施

- ・AI-OCRの利用部署に対しては、利用に関するマニュアルを整備した上で、担当職員への研修を実施し、適切な利用を徹底する。